

この資料は、BAT 英国本社が2024年6月4日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

プレスリリース 2024年6月4日

British American Tobacco p.l.c.



2024年上半期決算前事業報告

## 通期業績予想の達成に向けて進展： 戦略的な経営管理と重点的な投資判断が成長の加速を牽引

- 上半期の業績は順調に推移し、2024年の予想の達成に向けて着実に進展
- 新カテゴリー製品の段階的な革新に加え、上半期の米国地域でのコマーシャルプランへの投資とこれに関連した卸売在庫の変動による下半期の収益成長が加速する見込み
- 売上高と最終利益のバランスがとれた質の高い成長を重視することで、新カテゴリー製品の収益性<sup>1</sup>の一層の改善に注力
- 燃焼式たばこ製品は、厳しいマクロ経済環境にも関わらず、米国地域のコマーシャルプランが引き続き大きな効果を発揮、AME（米国を除く南北アメリカおよび欧州）地域と APMEA（アジア太平洋・中東・アフリカ）地域では数量ベース、金額ベースともにシェアが拡大、上半期の価格設定も良好
- AME 地域はマルチカテゴリー戦略が奏功して好業績を達成、APMEA 地域では新カテゴリー製品の段階的な投入を反映して収益は下半期に偏る見込み、上半期は前年同期が好調だったことなどが業績に影響
- ITC 株の一部売却に伴い継続的な自社株買いを開始
- キャッシュ・コンバージョンは高水準に達しており、2024年末にはレバレッジ<sup>2</sup>は範囲が狭められた想定レンジの 2.0～2.5 倍以内となる見通し

### タデウ・マロッコ最高経営責任者のコメント

「2024年のこれまでの業績は予想通りの着地の見込みとなっており、同一為替レートベースの既存事業<sup>3</sup>の売上高成長率、調整後営業利益成長率ともに、1桁台前半とする予想の達成に向けて着実に進展しています。

当社の業績は、米国地域でのコマーシャルプランへの継続的な投資に関連した卸売在庫の変動、さらに新製品の段階的な投入を主に反映して、下半期の比重が大きくなると予想されます。また、当社は業績予想に際して、米国市場におけるマクロ経済要因による圧迫と違法なベイブ製品（電子たばこ）に対する効果的な法規制の欠如を考慮しています。このため、上半期の同一為替レートベースの既存事業<sup>3</sup>の売上高と調整後営業利益は1桁台前半の減少になる見込みです。

中期的に持続可能な成長アルゴリズムを推進するために、戦略実行を強化し、重点的な投資判断を実践しています。米国事業の継続的な強化、イノベーションの加速、戦略の実行を支える能力強化のための投資を行っています。

この投資を通じて、より優れた未来に向けた事業基盤が整います。まだなすべきことはありますが、これまでの取り組みが効果を上げていることを確信しており、米国の燃焼式たばこ製品の持続的な牽引力、先行投入された市場における glo Hyper Pro と強化されたスティック製品の早期の市場投入、さらにたばこ葉を使用しないニコチン製品の veo が欧州で好調を維持していることは、嬉しい限りです。

質の高い成長を重視した戦略が効果を発揮し始めており、3つの新カテゴリー製品全般、特に加熱式製品とモダン・オーラル製品に対する重点的な投資によるリターンが加速しています。この結果、上半期、通期ともに新カテゴリー製品の収益性<sup>1</sup>の改善が進むと予想されます。

加えて、引き続き当社は持続可能な未来の構築を推進しており、米国のベイプ製品市場を中心に、新カテゴリー製品に対するより適切な規制と法の施行を求めています。

当社の事業は極めてキャッシュ・ジェネラティブであり、高水準のキャッシュリターンを通じた株主還元を継続していくことを重視しています。営業キャッシュ・コンバージョン比率が一貫して高く、また ITC 株の一部売却が完了したことも反映して財務上の柔軟性が向上しており、継続的な自社株買いを開始することが可能になりました。

今後の展望については、現在の投資が結実し、下半期には成長の加速が強まると予想しています。精緻化された戦略のもと、『Building a Smokeless World (スモークレスな世界を築く)』という目標に向けて着実な業績改善を実現し、2026 年までに同一為替レートベースで既存事業<sup>3</sup>の 3~5%の売上高成長率と 1 桁台半ばの調整後営業利益成長率を達成することを目指しています

**具体的な進展が見られる以下 3 つの主要分野が業績見通しの裏付けとなる：**

### **1. 燃焼式たばこ製品：米国地域でのコマーシャルプランの効果が本格化、AME 地域と APMEA 地域で数量ベース、金額ベースともにシェアが拡大**

燃焼式たばこ製品の 8 大市場<sup>4</sup>における当グループの紙巻たばこの数量ベースのシェアは 0.3 ポイント上昇しました。金額ベースのシェアは、地域構成の悪化と米国でのコマーシャルプランの導入による影響を主に反映して 0.1 ポイント低下しました。

米国のマクロ経済情勢には回復の兆しが見られますが、消費は依然として逼迫しており、燃焼式たばこ業界の年初来の販売数量はおよそ 3.9%減少しています。前述の通り、上半期の業績はコマーシャルプランへの継続的な投資とこれに関連した卸売りの在庫調整の段階的な実施による影響を受ける見込みで、後者による影響は下半期には解消すると予想されます。これまでに発表したコマーシャルプランの大部分はすでに実行されており、以下の通り、その成果が本格化しています：

- 投資対象の州で Newport (ニューポート) ソフトパックが好調で、Natural American Spirit (ナチュラル アメリカンスピリット) のさらなるシェア拡大も重なり、プレミアムブランドの数量ベースのシェアが 0.4 ポイント上昇
- Lucky Strike (ラッキー・ストライク) の力強い成長が継続しており、米国で最も急成長している燃焼式たばこブランドとしての地位を堅持。またブランド製品の数量ベースのシェアが拡大し始め、大幅割引製品のシェアの拡大ペースは鈍化

当社は良好な価格設定を維持しており、AME 地域と APMEA 地域で金額および数量ベースのシェアが拡大しました。上半期の業績を牽引した主要市場は、ドイツ、ルーマニア、パキスタン、メキシコでした。

### **2. イノベーションの強化により新カテゴリー製品の成長の加速を促進**

#### **2.1 Vuse：世界市場で金額ベースのシェアはトップ<sup>5</sup>、米国の違法な使い切りタイプのベイプ製品の蔓延による影響が続く**

ベイプ製品の 7 大市場<sup>6</sup>における金額ベースのシェアは 41.1%となり、トップの地位を維持しました。AME 地域での拡大 (0.2 ポイント上昇) が米国地域での低下 (0.9 ポイント低下) により相殺されました。

米国では、追跡チャネルにおける金額ベースのシェアは 51.5%と、トップの地位を維持しましたが、違法である使い切りタイプのベイプ製品の蔓延が業績に影響を及ぼすと予想されます。

引き続き当社はこの分野の違法な製品に対するより適切な規制と法の施行を求めており、以下を含め、徐々に対応措置が講じられる兆しが見られます：

- 米国の 20 州でベイプ製品に関する条例や規制法が提案され、現在までに 3 州で法律が施行されている
- 全米で初めてベイプ製品の規制条例を導入し、2023 年 10 月に関連法を施行したルイジアナ州では違法な製品の販売数量減少の兆しが見られ、Vuse Alto は合法的な製品市場への需要回帰による恩恵の大半を享受

AME 地域における金額ベースのシェアの拡大を牽引したのはフランス、ドイツ、ポーランドでした。AME 地域全般に、複数の製品カテゴリーを併用<sup>7</sup>するパターンが続いており、ベイプ製品がその恩恵を享受しています。

6月に当社は、味とデザインを改良し、交換可能な電池を搭載した新しい使い切りタイプのベイブ製品、Vuse Go 2.0の販売を開始するなど、2024年は販売規模をさらに拡大していきます。この結果、より革新的なクロード・システム（リキッドが予めセットされている、入れ替え不可能なタイプ）のベイブ製品の投入とあわせて、下半期には販売数量、売上高ともに加速すると予想しています。

## 2.2 glo：革新的な新製品が加熱式製品の9大市場<sup>8</sup>全般におけるこのカテゴリーの数量ベースのシェア回復を牽引

当社の革新的な新製品、glo Hyper Proと改良されたスティック製品に対して消費者が好ましい反応を示していることを反映して、主要市場<sup>8</sup>におけるgloの数量ベースのシェアが1月以降、前月比で回復し始めており、年初来の数量ベースのシェアは16.8%と、0.2ポイントの低下にとどまっています（これに対して2023年には11ポイント低下）。glo Hyper Proの投入は加熱式製品のプレミアム・カテゴリー進出の重要な第一歩を意味するもので、他のプレミアム製品に匹敵するデバイスの価格設定を実現しています。

- 当社の重点市場である日本とイタリアでは、このカテゴリーの数量ベースのシェアは前年と同様の水準で安定
- AME地域の主要市場のポーランドとチェコは好業績を維持
- 現在17市場で販売されているたばこ葉を使用しないニコチン製品のveoは競合商品を大きく凌ぎ業績をあげており、年内にさらに投入市場を拡大していく計画

上半期の販売数量と売上高は、2023年半ばに実施された日本とイタリアでの価格改定に関連した比較対象品目の増加による影響、および、上半期末までに主要市場で完了予定の最新の革新的製品の段階的な投入による影響を受けることになると予想しています。

結果として、市場シェアの拡大傾向が続き、既存事業<sup>3</sup>の下半期の販売数量、売上高、利益<sup>1</sup>の改善が加速すると予想しています。

## 2.3 VELO：売上高と利益の力強い成長を記録 – 米国以外でトップ<sup>9</sup>の地位を維持

オーラル製品の7大市場<sup>9</sup>におけるVELOの数量ベースのシェアは、モダン・オーラル製品の力強い成長に牽引されて0.8ポイント上昇して10.3%となりました。

モダン・オーラル製品の主要市場<sup>9</sup>における当社の数量ベースのシェアは、米国市場の比重が大きいことを主に反映して0.1ポイント低下し、27.0%となりました。

- AME地域では、スウェーデン、デンマーク、ノルウェーなど、オーラル製品の確立された市場における当社の優位性と英国、ポーランドなど比較的新しく参入した市場の力強い成長の加速を反映して市場リーダーとしての地位を維持
- 米国では、刷新されたVELOブランドの段階的な展開が早くも喜ばしい成果を見せ始めています。モダン・オーラル製品の数量ベースのシェアは、ニューヨークでの試験販売により数量ベースのシェアが2.8ポイント拡大して13.5%となったことに牽引されて、4.5%で安定
- 加えて、消費者試験の肯定的な結果を受け、伝統的なオーラル製品からモダン・オーラル製品に移行する利用者が増えていることも踏まえて、モダン・オーラル製品Grizzlyの全米展開を開始

また、新興国市場でのVELOの市場機会もきわめて大きく、パキスタンと南アフリカの販売数量は高水準を維持しています。

従って、引き続きVELOは2024年上半年期、通期ともに好調な業績を達成すると予想しています。

## 3. 財務上の柔軟性を強化

BATのキャッシュ・ジェネレーションは極めて高い水準に達しており、継続的な向上を重視する考え方とリソース配分の一層の最適化を反映して、2024年の営業におけるキャッシュ・コンバージョンは2024年も90%を超える見通しです。

今年3月、当社は保有するITC株の3.5%の売却を完了し、2024年の7億ポンド、さらに2025年の9億ポンドを皮切りに、継続的な自社株買いを開始することが可能になりました。

レバレッジ引き下げが大きく進展しており、2024年末には調整後純負債/調整後EBITDA倍率<sup>2</sup>は範囲を狭めた射程内にあると思われる予想水準の2.0~2.5倍以内にとどまる見込みです。

## 2024年の業績予想：

- 世界のたばこ業界の販売数量は約3%減少する見通し
- 同一為替レートベースの既存事業<sup>3</sup>の売上高成長率は1桁前半となり、新カテゴリー製品の成長は下半期の比重が大きくなる見込み
- 既存事業<sup>3</sup>の調整後営業利益成長率は、約2%と予想される取引上の為替変動によるマイナス影響を考慮後で1桁前半となる見通し
- グループ売上高と利益の成長は下半期に偏る見込み
- 調整後営業利益成長率に対する為替換算差損によるマイナス影響は、2024年上半期、通年ともに約4%となる見込み<sup>10</sup>
- 営業におけるキャッシュ・コンバージョンは90%を超える見通し

2024年上半期決算前事業報告に関する電話会議の録音再生（英語）は [www.bat.com](http://www.bat.com) よりお聴きいただけます。

市場シェアと販売数量に関するデータは2024年1～3月のもの。平均シェアの成長は2023年の平均値比

1. **カテゴリー別利益寄与度段階での収益性：**新カテゴリー製品に直接帰属するコストを配分後の調整項目および為替換算上の影響を除いた営業利益に基づく。
2. **レバレッジ：**調整後純負債の調整後EBITDAに対する比率。  
**調整後純負債：**IFRSにより定義された尺度ではない。調整後純負債とは、関連デリバティブを含む総借入金から現金・現金同等物および公正価値で保有する現在の投資を差し引いた後の数値からレイノルズ・アメリカン（RAI）買収に伴う取得原価配分調整の一環としてRAIから引き継いだ債務の再評価による影響を除外したもの。  
**調整後EBITDA：**IFRSにより定義された尺度ではない。調整後EBITDAは、正味金融費用/収益、通常業務に課される税金、減価償却費、償却費、減損費用、関連会社および合併事業の税引後利益のグループ持分、その他の調整項目を控除前の当期利益。
3. **既存事業：**国際会計基準（IFRS）に準拠して公表されたBATグループの業績を補完するために、当社取締役会は業務執行に関する最高意思決定機関として、売上高、調整後営業利益を含む業績の一部を、売上高と調整後営業利益に関しては売却した事業あるいは売却目的で保有する事業の影響を除外したうえで、同一為替レートに基づいて報告している。当社は、これらの尺度がIFRSの尺度に代わるものとは考えていないものの、売却事業あるいは今後売却するために保有している事業の影響を除外した業績は、当社事業の基調的な動向に関する同一基準の有益な追加情報を投資家に提供し、また当社のロシアおよびベラルーシ事業の売却については、これらの事業が売上高と営業利益に及ぼしていた影響に関する情報を提供することになると考える。従って、本文書に掲載されている既存事業ベースの販売数量および業績指標は、当グループのIFRSベースの業績およびその他の業務指標と合わせて解釈されるべきである。
4. **燃焼式たばこ製品の8大市場：**米国（Marlin）、ドイツ（Nielsen IQ）、日本（CVS）、ルーマニア（Nielsen IQ）、ブラジル（Scanntech）、メキシコ（Nielsen IQ）、バングラデシュ（Nielsen IQ）、パキスタン（Retail Access）。これらの8市場は業界全体の燃焼式たばこ製品の売上高の約65%を占めると推定される。
5. **世界市場で金額ベースのシェアはトップ：**ペイプ製品の主要7市場における、リスク低減の可能性\*<sup>+</sup>を秘めたペイプ製品の小売売上高（すなわちペイプ製品全体の金額ベースの総小売売上高）におけるVuseの金額ベースの推定シェアに基づく。
6. **ペイプ製品の7大市場：**米国（RSD）、カナダ（Scan Data）、英国（Nielsen IQ）、フランス（Strator）、ドイツ（Nielsen IQ）、ポーランド（Nielsen IQ）、スペイン（Logista RA）。これらの7市場は世界のクローズド・システムのペイプ製品の売上高の約80%を占めると推定される。
7. **複数の製品カテゴリーの併用：**喫煙者がリスク低減の可能性を秘めた\*<sup>+</sup>ニコチン製品に完全に移行するまでの経過期間に当たり、この期間中、喫煙者は紙巻たばこの消費を減らし、1種類以上の新カテゴリー製品を消費することを選択する。
8. **加熱式製品の9大市場：**日本（CVS-BC）、韓国（CVS）、イタリア（Nielsen IQ）、ドイツ（Nielsen IQ）、ギリシャ（Nielsen IQ）、ハンガリー（SZTFH）、ポーランド（Nielsen IQ）、ルーマニア（Nielsen IQ）、チェコ（Nielsen IQ）。加熱式製品の9大市場は業界全体の加熱式製品売上高の約90%を占める。
9. **モダン・オーラル製品の7大市場：**米国（RSD）、スウェーデン（Nielsen IQ）、デンマーク（Nielsen IQ）、ノルウェー（Nielsen IQ）、スイス（IMS）、英国（Nielsen IQ）、ポーランド（Nielsen IQ）。これらの7大市場は業界全体のモダン・オーラル製品売上高の推定約80%を占める。
10. 米ドル/英ポンドの実勢為替レートは2024年5月31日時点で1.2732。

シェアの成長は、加熱式製品とモダン・オーラル製品は販売数量ベースのシェア、パイプ製品は金額ベースのシェアに基づく。

ここでの販売数量ベースのシェアは、各製品カテゴリーの推定総小売販売数量に対する当社の同製品の小売販売数量の割合。金額ベースのシェアは、各製品カテゴリーの推定総小売売上高に対する当社の同製品の小売売上高の割合。これらの数字についての詳細は2023年年次報告書のFORM 20-F、またその他のKPIについての詳細は同報告書の333および334ページに記載。業界全体および世界の売上高は、当社が参入している市場における業界全体の売上高を指す。

新カテゴリー製品は、加熱式製品、パイプ製品、モダン・オーラル製品で構成される。米国で販売されている当社製品（Vuse、VELO、Grizzly、Kodiak、Camel Snus など）は、米食品医薬品局（FDA）の規制を受けており、FDAの許可なしにこれらの製品に関するリスク低減を主張することはない。

\* 紙巻たばこからの完全な移行を前提とした、科学的根拠の重みづけに基づく。「リスク低減の可能性を秘めた」製品に健康へのリスクがないことを意味するものではなく、これらの製品は依存性がある。

† 当社のパイプ製品のVuse（Alto、Solo、Ciro、Vibeを含む）および米国で販売されているVELO、Grizzly、Kodiak、Camel Snusを含む一部の製品は、米食品医薬品局（FDA）の規制を受けており、FDAの許可なしにこれらの製品に関するリスク低減を主張することはない。

《注（日本語翻訳版）》

・当社は日本において、ニコチン入りのパイプ製品および電子たばこ製品は販売しておりません。ゼロニコチンタイプのパイプ製品を販売しています。

・当社は日本において、たばこ葉を含有しないモダン・オーラル製品 VELO は販売しておらず、たばこ葉を含むオーラルたばこ製品 VELO を販売しています。